

句 評

細井吉之輔

「柳都にいがた」代表

「恋」

第一席 初恋は映画に出てたトップスター

幼い眼には、成熟したスターが輝いて見え、夢中になってしまったのですね。

第二席 情けないあの子がいると目が追って

秘めた恋一周りに知られたくない、しかし恋しい気持ちは抑え切れない。そんな自分をどうしようもない。

第三席 二人乗り背中ではねるきみの声

台湾でよく見かけるバイクの二人乗りでしょうか。前後の二人は、熱い感じで満たされているのでしょう。

「オアシス」

第一席 信号待ち木陰ひとつが救いかな

日頃意識する事無く、「独活の大木」にも見えた街路樹—それが日差しの強い炎天下では、道を通るみんなに頼もしい存在になってくれます。

第二席 長老の話が長いオアシスだ

オアシスに長く暮らしてきた長老は、今まで色々な出来事を見てきた。

第三席 鉄ちゃんの秘めたオアシス無人駅

殺風景にも見える無人駅、しかし鉄道ファンには、特別の思いがある所もあるのかもしれませんが。